

7. 4 大学図書館に期待するもの

筑波大学文芸・言語学系講師

秋山 学

主旨；IT革命が進んでいるとは言え、大学図書館の基本は蔵書でありましょう。

図書館の今日的意義を考える上で、図書館史をひもといてみることは有意義だと考えます。わたくしの専門（西洋古典学・地中海学）に関わる限りで、古代地中海世界の著名な図書館をいくつか取り上げ、その歴史や設備・システム・蔵書内容などを探ることによって、大学図書館の意義や機能を照らしてみたいと思います。
(当日、A3・1枚程度のハンドアウトをご用意します)。

概要〔予定〕

- 1) はじめに
—古代の「本」と図書館をめぐって—
- 2) 古代オリエント世界の図書館
—アッシリアの首都ニネベの図書館—
- 3) ヘレニズム世界の図書館
—アレキサンドリアとペルガモンの図書館—
- 4) 古代ローマの諸図書館
- 5) 古代から中世へ
- 6) 終わりに
—古代図書館史から現代図書館に向けて—

参考文献；J.ド・ロミイ『ギリシア文学概説』

(細井敦子／秋山学共訳、法政大学出版局、1998年)。

秋山学『教父と古典解釈』(創文社、2001年)。

『書物の言語態』

(東京大学出版会刊「シリーズ言語態」3、宮下志朗／丹治愛編、2001年)。

『記号学大事典』(坂本百大ほか編、柏書房、2002年)。